



●鷹岡にも市立幼稚園を

鷹岡地区には市立の幼稚園がありません
保育園もありません。もつと、子どもの
育成を心がけてください。

(入山瀬・松井敏子 33才)



朝日・熊川記者

ですか…。ヘドロ退治は、
富士市民の共通の願いだと思
うんですよ
記者 私も同感だね。
市長 みなさんのご指摘の
ように、ヘドロ

処理に東奔西走の1年間でした。ジャーナリストのみなさんから見れば、ヘドロ処理は一步も前進していない。といわれるかもしれないが、曲りなりにもヘドロ退治、ができる機運が高まり、一つの見通しがたつたと思つています。

記者 しかし市長、一昨年が公害告発の年であり、昨年はその解決をはかる年としてスタートしたと思うんだが、期待どおりに進行できなかつたというのが、本音じゃないですか。

市長 残念ながら、そんな結果になつてしまいました。

記者 問題は今年に持ち越されたということですね。

記者 旧ろう、再び県から田子の浦のヘ

ドロ処理(※田子の浦港にたい積している約130万トンのヘドロを、春までに30万トンを富士川河川敷で処理する計画)をやりたい、という話しがあつたが、これとても、港のヘドロをこう処理していくという全体計画といいますか、抜本的なものを立てて、やるということじゃないようですね。今回もその場しのぎのようですけども…。

記者 だから、そういうところから見ると、まだ、メドがついたというのは早すぎるような感じがしますね。

市長 ヘドロ対策(※田子の浦港のヘドロ処理と発生源対策のこと)のちやんとした見通しができたのか、といわれるとまだ、相当問題があるので、ここで、自信をもつて「イエス」とはいえないのですが、昨年来の問題をキツカケに、一つの手法を進める基盤ができたことは確しかなんです。

記者 ヨチヨチ歩きをはじめたという感じですね。

記者 それも、自力というよりも、法によつてがんじがらめになつたから…。

記者 一連の住民パワーによる公害告発によつて、遅々ながら企業も目ざめたこ

とは確かだな。

記者 企業が公害にほんとうに目ざめたかには、僕は異論があるが、一つの公害に本腰になつて取組みはじめたことは、評価に値するんじゃないかな。

記者 企業も、住民に言われたから、法律ができたから——公害防止をするんじゃないやなくて、モラルというか社会責任において、公害をなくしていつて、もらいたいものだね。

公害対策審議会の
諮問に期待

司会 ヘドロ対策は、富士市にとつて確かに重要な問題ですが、そのほかの点については、どうですか。

記者 ぜん息児童の医療救済(※市内の小学6年生以下の児童が、公害病に認定されると無料で治療を受けられる)は、渡辺市政のヒットといえるんじゃないかな。

記者 それに関連して、この2月ころ、国の公害病認定地域の指定があるようだ



●バイパスの全工事完成を

昼となく、夜となく響く自動車騒音。バイパスが開通しても、国一の交通量は少なくなりません。バイパスの全工事完成と、富士川橋が無料になればよくなると思います。(柚木・鳥居秋蔵 48才)

ぼくらの
まち



東小学校6年
栗田豊満



ぼくの家は、新幹線と東名高速道路にはさまれています。

静かなよい町で、北は愛鷹山、南は浮島の田んぼが、駿河湾の松林まで続いています。

えびがに、めだか、ふな、くわがたながいもほりと四季の楽しみがつばいす。へドロなどの公害で苦しんでいる人たちにくらべると、ここは天国のような所だと思います。大きな

町でもありませんが、つくづく「いい町だなあー」と思います。

だけど、この美しい町をよごす人がいます。

「ゴミをすてないで下さい」という立札があるのに、なぜすてるのだから。市からゴミをとりにくるのだから、川にゴミをすてなくてもいいのになあー。

だが、こんな悪いことばかりではない。2丁目の店のおばさんだが、道にゴミがあると、はいてきれいにしています。こんな姿を見ると、ほんとうに頭がさがります。みんながおばさんのようなら、こ

が、それによつて国の方の認定を受ける患者も何人かできてきますね。そうすると市独自の医療救済に幅というか、例えばそれ以外の地域とか、年齢の幅を広げる考えはありますか。

市長 えー。その落ち穂ひらいをやらざるを得ないんじゃないですか。国は線引きをやりますからね。線引きからはづれたものについては、認定委員会の認定さえあれば、救済していかねばならないと思います。

記者 しかし市長、医療救済はあくまでも消極的な戦法ですからね。公害をなくすことが一番いいんですから。それがすぐにできないならば、医学的治療しかないわけですね。しかし、富士市の場合は中央病院の空気清浄器くらいでしょ。もつと治療器具をそろえとか、大学病院とタイアップして専門医の治療も受けられるようにしてほしいものだね。

市長 一生懸命やらさせていただきます。

記者 先ごろできた公害対策審議会（※公害をなくすためにできた市長の諮問機関で、29人の委員で構成されている）は注目すべきことですね。

記者 僕は審議会委員の選抜方法に、若

干疑問があるんですがね。というのはメンバーの中に、市民代表が何人か入っているけれど、大学の先生などの専門家の人たちと、同一問題を検討しようことに問題があるような気がするんだな。市民代表が折角参画しても、その人たちの意志がどれくらい審議会の中に反映させら



サンケイ・小串記者

れるか、など疑問が多いんだな一。

市長 いいですか。公害対策は専門的な係数や方程式がなければ、理論的な裏付けができない

と思うんですよ。しかし、私が市民代表の方々に期待していることは、例えば、大気汚染については、今、国が示している環境基準（※国の基準は0.05 P P mになつている）で富士市民はいいのか、もつと、きびしい基準にしろという意見があるのか——そういった公害退治の市民の生の声を聞くために、お願いをしたわけなんです。

記者 わかりました。公害対策審議会に大いに期待しましよ…。

記者 市民が総ぐるみで公害防止に取り組んでいる、わが国の地方自治体のモデルケースにしてもらいたいものだね。

打ち出したい

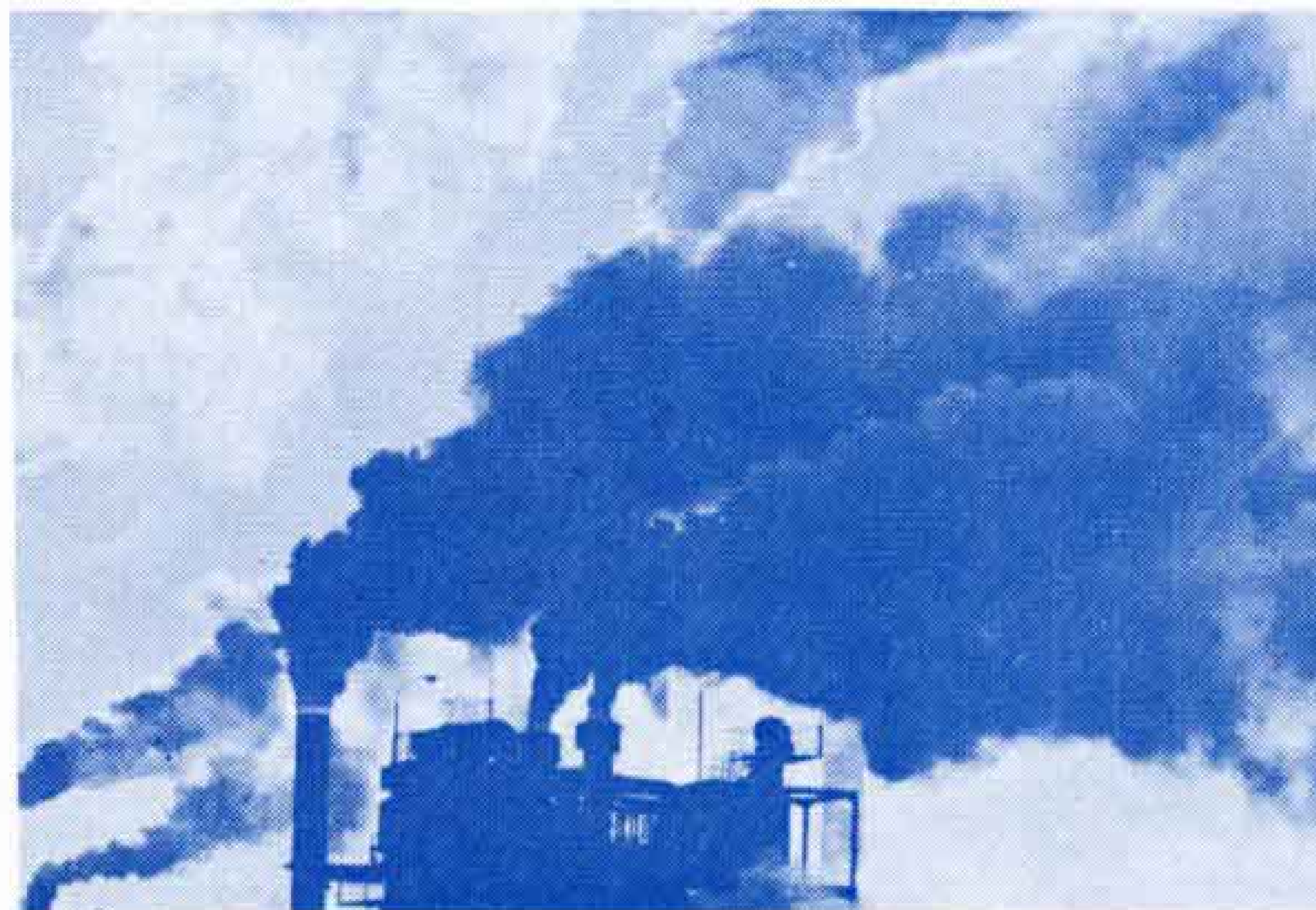
渡辺カラー

司会 渡辺市長は就任いらい、市民生活を優先する、いいかえれば、誰もが住みたくなるような都市づくりをしたい、という姿勢で市政にあたられているわけですが、そこらあたりの評価はどうですかズバリ言つてください。

記者 どうも、行政の中に渡辺カラーが出ていないような気がするね。

記者 僕も、いままで市長は、あまりにも大過なく過そうという、なまじ「革新市政」のレッテルを張られているばかりに、それにちぢこまりすぎている気がするね。もつと、市民のために「大過」をおかしてほしいと思うんですよ。

記者 大きな問題に忙殺されすぎました



●へドロより大気汚染を

富士市の公害というへドロといわれるが、むしろ大気汚染対策に力を入れるべきだと思う。各企業に対する市のしつかりした指導を
(新橋・安井輝雄 37才)

の町はどんなに住みよく、すばらしくなるだろう。

ぼくは、このようなよい心をもつ人を見ると、ゴミをすてる人に「おまえがすてたんだから、はいてきれいにしろ」と言いたくなります。

あんなよい心を持っている人もあればへいきですてる人もある。世の中ついでいろいろだなあー。

ぼくたち一人一人がこの町を、よりよくしていかなければ、よその人にじまんできる町にならないと思います。みんなできつばな町にしたいなあー。



市議会議員

望月政三

19万市民の信託に こたえたい

昨年の富士市は、まことに多事多難な1年であつたことは、皆様ご承知のとおりであります。この激動する情勢のなかで、当市は岳南地域の経済・社会における中核都市として著しい高度成長を続けています。

しかしながら、このような都市化工業化の進展は、大気汚染、水質汚濁などの公害の激化、交通事故の増大、住宅難など、市民の経済社会活動の各般にわたり、大きな問題を提起しています。

これら諸問題に対処するためにはさらにいつそう公害防止対策、道路建設など諸施策に積極方針をとり、人間優先を考えた産業基盤の整備を図り、同時に住宅、公園、下水道など、日常生活に直結する生活環境施設を整備し、市民の福祉向上を図る諸政策を、積極的に推進しなければならぬと思います。

これらの解決をはかるため、最大の努力をする覚悟であります。

これからの自治体は、名実ともに内政の要となつて、豊かな地域社会の建設にとりくみ、青年富士市にふさわしい、輝かしい時代にする努力をしなければならないと存じます。

議決機関たるわれわれ富士市議会といたしましても、本年もまた終始公正に、19万市民の信託に応え、市政の諸問題を慎重に審議し、市民各位のご期待にそつよう努力する決意であります。

かな。

市長 具体的に渡辺カラーといわれても困るんですが私の気持は、いつでも市民サイドに立つた物の考えをし、実行に移



静岡・天野記者

しているんですよ。しかし、ある一面では、この2年間に私のとつた姿勢で市民からご批判もあるかもしれません。私はね、日本国中がそうであるように、富士市も終戦後4分の1世紀の中から生まれた難問題があまりにも多いんですね。当面ころした課題を始末することに専念せざるを得ないんですよ。ある場合には、取り組み方で「高姿勢」とおつしやられるかもしれませんが、その辺のところをご理解いただきたいんですが…。

記者 僕はね、前市長でもできたものを渡辺市長がやつても「革新色」は出ないと思うんですよ。いわゆる保守の市長だつたらできないものを、やるべきじゃないのかな。どうです市長さん。

市長 うん……。

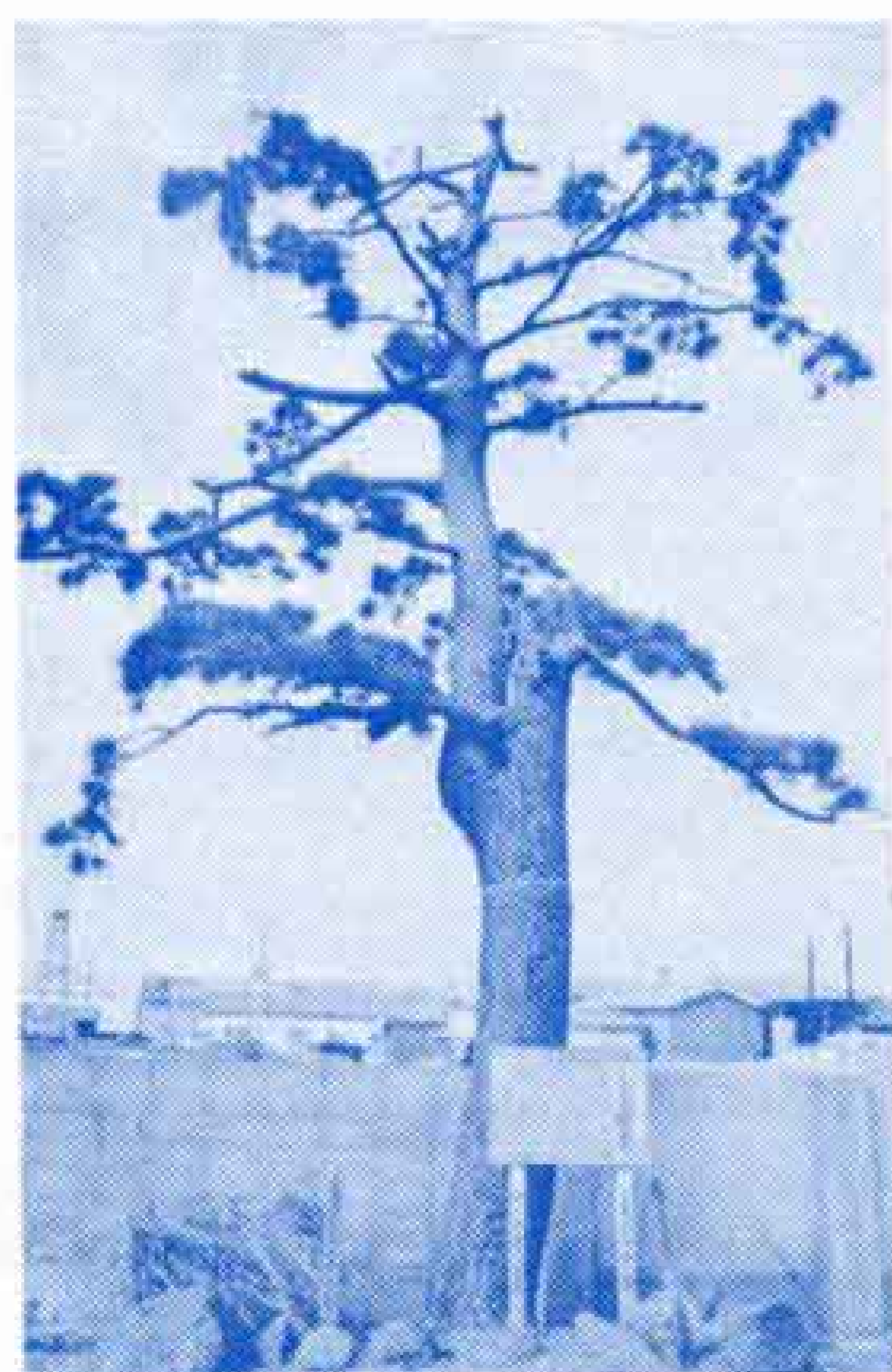
記者 残る2年間に、どのようなカラーを出していきますか。

記者 その前に、僕がお聞きしたいことは、ほんとうに市長が、私は革新という立場で、市政を行なつてきたか、どうかなんですが…。

市長 いまの日本の都市問題の中で「革新市政」とは何だといつたら、「市民サイド」の政治をするということと、私は思うんです。私はこの道を真つ直ぐ進むつもりでいます。

記者 渡辺市政は、この2年間、市民の上に立つた市政をやりたい、ということで、やれアンケートだ、懇談会だといつて、市民の声を吸いあげてはみたものの折角の声が、どうも市政の中にはねかえつてきていない感じがしますね。これは市長ばかりせめられないことだが、市の職員も「市民のための行政」に本気になつてもらいたいね。笛吹けど踊らずじや市民が不幸ですよ。

記者 渡辺市政は間口を広げすぎたという見方もあるが、僕は非常にいいことだと思うんだ。渡辺市長は、公害除去のピンチヒッターだけで市長の座についたわ



●もっと文化財の保護を

左富士、かぐや姫遺跡など多くの史跡、旧跡がある。ところが、荒れるにまかせ、ほとんど顧みられていない。文化財の保護をしつかり。

(伝法町2・小野晃 61才)

私たちの
まち



元吉原小学校6年
荒川百合子



きのう、友達と学校に来るとき、とてもよく晴れていて、空もきれいだつた。だが、富士山と私の間には、大昭和の工場と煙が、どつかりとすわりこんでいた
「今日は雲一つない日本晴れだね」
「そんなことはないよ。ほら、あそこに煙でできた、公害の雲があるじゃん」
なんて話しながら来た。
どんなに晴れていても、いつも公害の雲があるなんていやだなあー。
日本一美しい富士山が、だいなしになつちやうもの。
私は生れた時から鈴川に住んでいる。

けじやないのだから。それと、極端に言えば郷土愛みたいなものを、どうやつてかもし出していくかという「至上命令」があつて登場したと思うんだ。だから、市長はもつと間口を広げるべきだし、広げ方が少ないような感じもするね。

記者 広げるだけじゃ意味はないよ。広げたらそれを生かさなければ…。

記者 市民党市長といわれる渡辺さんが

全力投球した終末処理場の建設（※中小120工場の製紙汚水を富士岡耕地で一カ所で処理する計画だつたが、地元の反対で建設できなかつた）の波紋は大きかつたね。

市長 うん…。不徳のいたすところですよ。市民の方々にいろいろご迷惑かけたことを、反省しています。

神をつちかわなくては…。

記者 自己処理（※企業が個々に、法律にあらうように水をきれいにして、排出することになつた）をするには、敷地がない、金がないからつぶれるというが、実際は一軒だつてつぶれたりしないし、転業も廃業もないんだからね。やれば、できるんだよ。

市長 それは簡単に結論づけるわけにはいかないと思うんですよ。私が終末処理場に固執したのは、水をきれいにするだけでしたら個別処理も可能なんです。しかし、あとのスラツチの始末、焼却、それをまた、運ぶ交通事情を考えたから、個別処理を積極的に業界にもいえなかつたわけです。公害対策は局部的なものでは解決できないと思うんです。都市全体の中で考えていかなければ、恒久的な方策にはならないんじゃないですかね。もちろん、一た



東京・山田記者

公害防止、市民のなかに根をおろす

記者 富士川火力、そして、こんどの終末処理場建設をめぐる一連の公害問題をキツカケに、富士市にも住民運動の目げえ、いやそれ以上のものが出てきたように思うね。ことわつておくけれど、結果がいいか、悪るいかは別ですよー。

記者 公害は繁栄のヒズミくらいにしか考えていなかった市民が、口ぐせに「公害」はいやだというムードが、市民の中に一步一步根をおろしているといえると思うな。

記者 僕は富士川火力のときくらべて「公害反対」が純粹になつてきたような

気がするね。

記者 それは、どうかな。

市長 公害が困る、なんとかしなくちやというのは、19万人の市民の共通の願いであり、最大の課題ですからね。

記者 そういう意味でも、企業も住民パワーにおされて、仕方なく「公害防止」をやるんじゃないかと、どんどん先取りしてやるくらいの責任がなくては、ダメだよ。住民も納得し協力もしないと思うんだ。

記者 企業も行政依存をほどほどにしないと、だめなんじゃないのかな。自立精



●富士駅周辺整備に抜本策を

富士駅周辺の区画整理は、計画が発表されてからすでに10年たつたが、いつころに進展していない。このため、将来の計画もたてられず困惑している。抜本的な対策を…。

(平垣本町・渡辺和雄 46才)

だから、砂と松林にかこまれたここが大好きだ。父からも昔この辺が美しかった頃のことを、聞かされることもある。

それなのに、このごろはヘドロや公害で、すごくきたない町としてさわがれている。

よその土地の人はヘドロ見物に来て、ハンカチで鼻をおさえたりしている。宇宙猿人ゴリでは、田子の浦港からかいじゆうがでたりした。何かの本では田子の浦を、すごく不潔できたない町として書いてあった。

でも、朝のさわやかさだつて、港の黒

い水にうつる大きな夕日だつて、私は知っている。

悪口を言われても、これは私のふるさと。だから、悪く言われるのはやつぱりすきではない。

いくら工業の発展のためとはいえ、きれいな空気や青い空をなくして、きたない水を作つて、きたない空気を作つて、きたない煙を出していいわけではない。作るだけ作つておきながら、あとは知らん顔をしているなんてひどい。

私達の学校では、よく空気のきたない日「今日は、空気がきたなくてくさいの

で、窓をしめてください。」なんていう放送がある。私達は、いつでもいつばいに窓をあけていられる日を、1日も早くほしい。

港の南の石油基地の付近や、防潮堤の下に公園を作るということを知った。こういう、いい面がどんどんすすめられていることはうれしい。だけど、私達の町の一番の願いは、「松林の松や、砂の上で遊ぶ私たちに」、きれいな空気と水を1日も早くほしいということだ。ほんとうに、そんな日が早くこないかなあーと思つている。



日本経済・北島記者

ん、自己処理が決まったからには、法は守つてもらわなくては困りますがね。

記者 ミザル法と批判されないように毅然とした姿勢で望んでもらいたいな。

記者 僕はね、終末処理場がご破算になつたことで、いま市長がいわれるようにそれぞれ功罪があると思うんですよ。市サイドからみても罪ばかりだけじゃないと思うんです。僕が一番評価していることは、企業が自分たちの手でやらなければいけない—という自覚をしたということです。とにかく、これまで行政は、企業に依存させるような、姿勢をとつてきたと思うんです。行政がそういうものをつづけていこうとした結果が、終末処理場と思うのだが。

市長 行政というのは市民全体のことを考えて、対処しなければなりませんからね…。

'72年 市民ぐるみの緑化運動進める

司会 公害問題の論議は、つきないと思いますが、この辺で、みなさんの目から見た渡辺市政3年目に対する期待感みたいなものを聞かせては、いただけませんか。

記者 われわれの言う前に、市長の考え方を聞かせてもらいたいな。いま、ちょうど新年度予算の編成期でしょ。財政の見通しや具体的な施策といったものを…

市長 そうですね。新年度予算を編成するにあつて、一言でいえることは経済が好転しないかぎり、税収の歳入増が期待できないので、近年にない苦しい台所になると思うね。しかしね、金がないから何にも出来ないじゃ困るので、行政のムダなものはできるだけ省いて、前向きにやりますよ。基本的な方針は、昨年進めた4本の柱(※①健康と安全を守る快適な環境づくり、②都市基盤の整備、③教育環境の整備充実、④こどもの健全育成と老人福祉)を中心に今年もやつていきたいと考えています。中でも、富士

駅前や庁舎周辺の開発、住工分離をはかる企業の団地化、社会体育施設の整備、緑のまちづくり—といった快適な都市生活を再現する行政を進めたいと思つています。それから役人のカンや経験だけでは、総合的な地域開発をしていくことがなかなかできないので、コンピューターシステムを、もつと充実していきたいと思つています



NHK・中津川記者

記者 グリーン作戦は、大いにやつてもらいたいね。しかし、理想論だけじゃ困りますよ。遠大な計画はもちろん必要なことだが、だれでも木を植えられる、例えば一軒一鉢とか、子どもが生まれたら記念に苗木を無料でくれる—といった身近かなことから、やつてもらいたいね。



●運動施設がほしい

公共施設が少なすぎる。市民プール、運動施設、博物館、児童会館など。二〇万都市にふさわしい施設をたくさんつくれば、公害ですさんだ市民の心も和むと思うけど…。

(柚木・渡辺俊一 18才)

ぼくらの
まち



鷹岡小学校 5年
野口不二雄



ぼくらの町、富士市は田子の浦港のヘドロ問題で、世界じゆうに公害のことで名前が広まってしまった。

田子の浦港ができたころは、水もすきとおつていて、自然を作り変えてできた港として有名だったが、今ではヘドロ港として有名になっている。

そこで、ぼくは未来の富士市を考えてみた。

今から10年先には、ぼくはもう大学生になっている。そのころには、田子の浦港のヘドロなど、ぜんぜんなくなっているかもしれない。人間の科学

の力で、ヘドロをなくしてしまうからだいや、それだけではなく、富士市だけでなく、日本じゆうの公害がなくなっているかもしれない。

もとの美しさを取りもどした田子の浦港は、また、美しい港として、話題になるかもしれない。そうすれば、町の中もみちがえるように変わるだろう。

町の中はどうなるだろうか。商店などがふえて、競争がはげしくなつて、売物が安くなっているかもしれない、学校や病院などの数も、きつとふえていることだろう。とくに、鷹岡には、小学校と中

足りない文化・スポーツ施設

記者 僕らが転勤で富士駅に着いて、アツと驚くのは、ここが富士の玄関口かということですよ。田舎の駅前広場って感じだな。住民も本気になつて改造をやる必要があるんじゃないのかな。

記者 富士、吉原、鷹岡の核を結ぶ幹線道路を早急につくることが大事じゃないかと思う。何につけても、合併前の3つの核が大きくたちはだかつて、スムーズな運営がされていないような気がするね渡辺さんが、3つの核を払いのけるような施策をしたら、ほんとの「革新」だと言う人もいますよ。

記者 僕は20万都市にしては、あまりにも文化施設やスポーツをする場所がないと思うんだな。皆無といつても、いいんじゃないのか。

記者 有形、無形の文化財保護はもとより、自然の保護に力を入れてもらいたいね。とどまることをしない開発を、野放しにしておく大変なことになるね。例えば、僕は釣りが好きだから言うんじ

やないが、須津川の「ヤマメ」なんかの保護も考えてもらいたいね。あれは貴重な魚ですよ。市民にうるおいをもたせる施策をどんどん進めてもらいたいね。

市長 みなさんから、いま忠告を受けたように、どれもこれも必要なことはわか



毎日・池田記者

つていても、財源難などから市民の要求をさばききれない、うらみもあります。しかし、昨年

から森林公園を5カ年計画で着手しましたし、総合運動公園も青写真が描ける段階にきています。市民プールは今年中につくりたいと思つています。公民館活動の拠点となる社会教育センターの建設にもとりかかりたいと思つています。祖先の遺産を残す郷土資料館のようなものは、

今年は無理としても、ぜひつくりたい施設ですね。

記者 3年越しになつている産業廃棄物処理場の建設の見通しは、どうです。

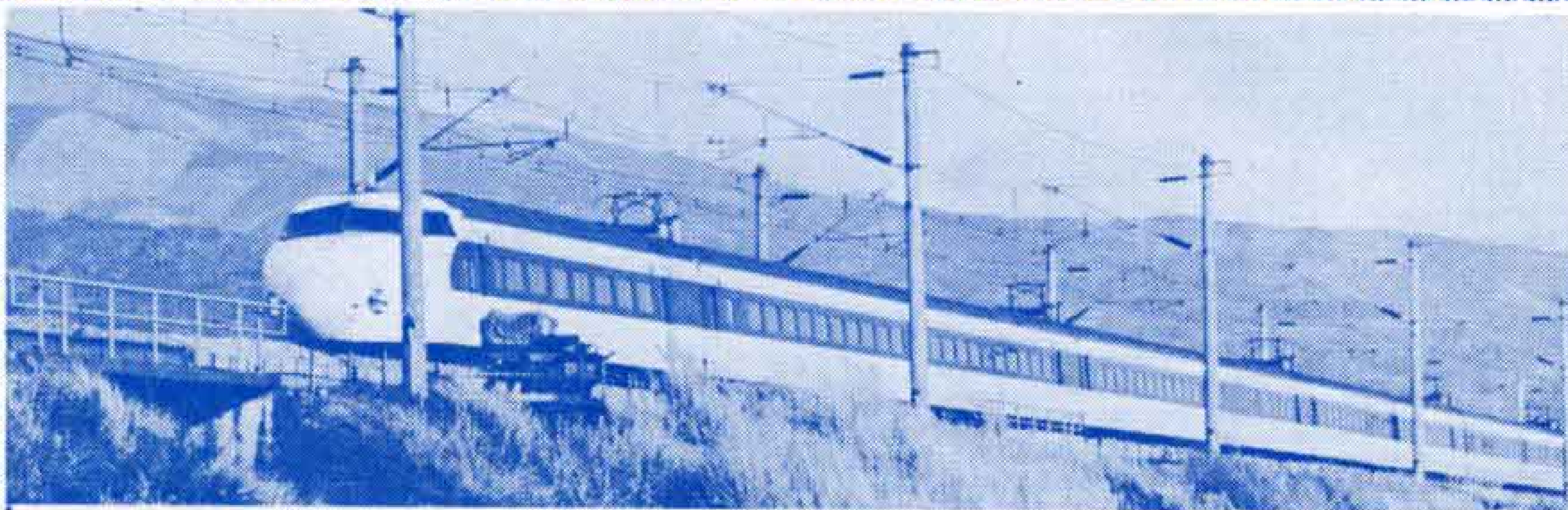
市長 大淵富士本町のみなさんをはじめ地元の方々のご理解も得られつつあるので、今年中には何んとか具体化したいと思つています。

記者 河川浄化にもつと本腰をいれてもらいたいな。どこの川もきたないね。市民のモラルに訴えるしかないかもしれないが、折角ある河川課の方でも、もつとリーダーシップを発揮して、どんどんやるべきじゃないのかな。

記者 川といえば、富士団地の排水をさばく滝川は、あれで大丈夫かね。あのままでは、和田川の二の舞を踏むことは、必至だね。

市民意識を高める
ムードづくりを

記者 ほかの自治体で、ぼつぼつ始めた老人医療の無料化はどうか。どうも



●新幹線富士駅の誘致を

富士市の発展のためには、新幹線富士駅の誘致が必要ではないか。現在の富士駅南口を整備し、モノレールで新幹線と結ぶなど、富士市の将来の大構想をたててほしい。
(上横割・望月竹松 59才)

学校が1つずつしかないから、もつと多くなるだろうと思う。

それに、一けん一けんの家がよくなっていることにちがいない。そうすれば、みんながしあわせになれるんだと思う。

これは、富士市だけでなく、日本じゆうがそうならばいいと思う。だけど、全部が全部、ぼくの考えているようにはならないかもしれない。

それでも、日本じゆうだけでなく、世界じゆうが、早くそうならばいいな、とぼくは考えている。



小学生コーナー

このコーナーは、市内の小学生のみなさんに、町の実感を書いてもらうものです。今月から毎回連載していきます。たくさん発言をおまちしていますが、お寄せくださるときには、字数は600字以内にして下さい。名前、学校名、学年も忘れないで下さい。

あて先は、富士市役所広報課＝富士市永田61の1＝です。

渡辺さんは、おとしよりに冷たいようだが…。

市長 老人福祉は、市政の重点事項にかかげてやっていますよ。老人医療の無料化は、国県のかねあいがあるので、市独自の考えはありません。ただ、今年中にオープンさせる社会福祉センター（※老人、身体障害者、心身障害児、母子世帯の人たちが、レクリエーションと機能回復に利用するところ）を充実するので、そうした中でカバーしたいと思っています。



読売・高山記者

記者 市役所は立派だが、ほかの公共施設の管理がどうもただけな感じがするんだな。例えば町の中にある公園なんだが、折角つ

くつても、あとの管理が悪いので、草はぼうぼう、小石はごろごろ一あれじや利用する人なんかいないと思うよ。

記者 同感だが、僕は市民意識というか

市民の方も反省する点があるんじゃないかと思う。公共施設は誰れがつくつたわけではなく、一人一人の税金の結集だつてことを忘れちゃいけないね。

記者 そういう意味で、昨年ある会社の従業員が、われわれが手本になろうと、いつて、会社ぐるみで海岸の清掃をやつたが、こういう市民意識を大いに育ていく必要があるね。

記者 官制だけではうまくいかないね。市民がやる気をおこすようなムードづくりを、大いにやつてもらいたいね。

いたいね。

記者 大いにやつてもらいたいね。

記者 そのとおりだね。



司会・西条弘

市長 いろいろ勉強させていただきます
記者 勉強だけじゃ進歩はないと思うね
実行に移してくださいよ。
市長が口ぐせのようにいう

市役所の沈滞ムード

ふきとばせ

記者 ムードといえば、僕は取材をして感じるんだが、市役所に沈滞ムードが、ただよっているような気がするね。渡辺さんも、もう2年も市政をやつてきたのだから、おおよそのことは、わかつたはずだと思んだ。今年、思いきつた人事の刷新なんかもやつてみて、職員のエネルギーを、市民のために引き出してもら

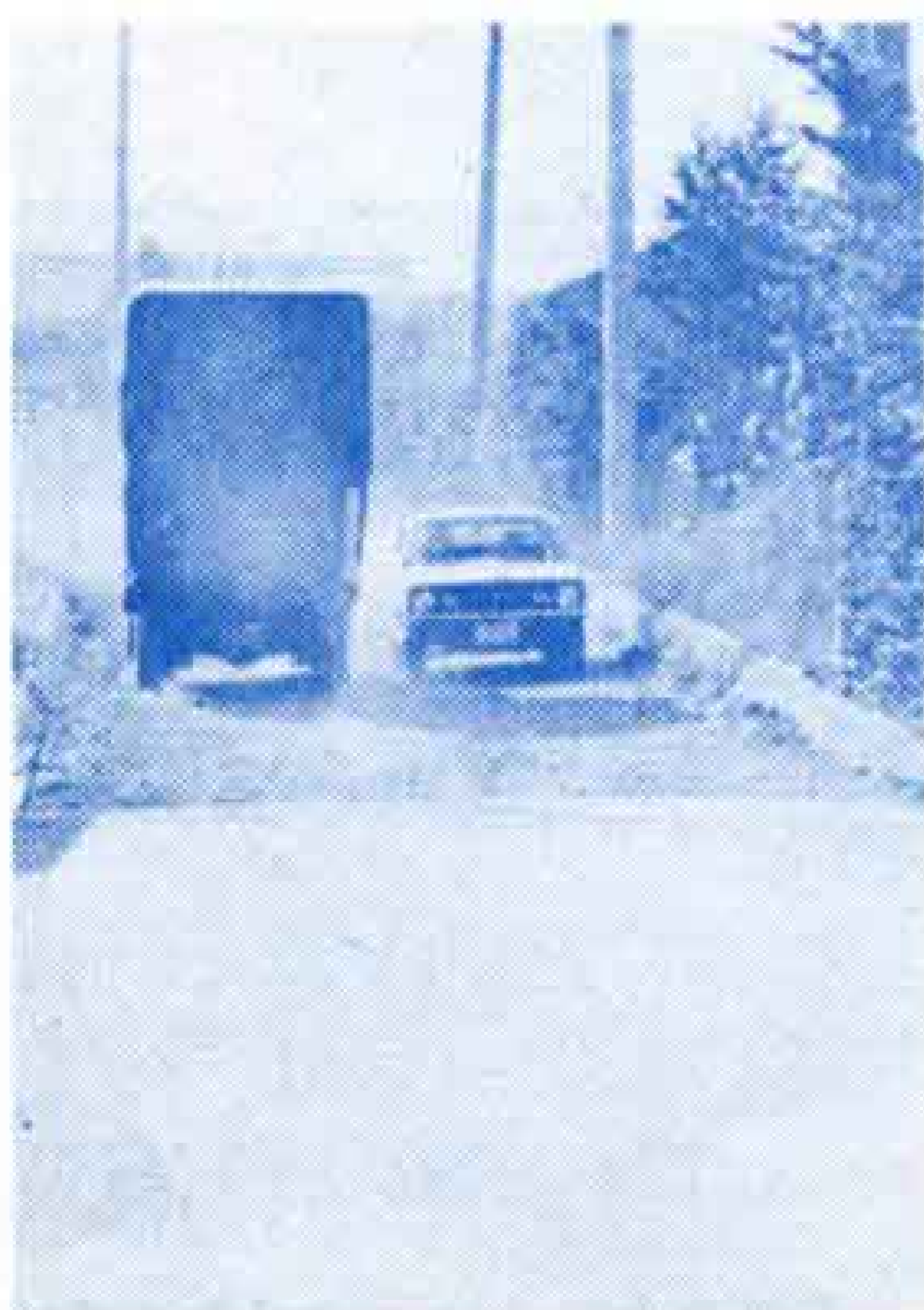
ゝ19万人の市民が、市長の勇気と英断を望んでいると思うんです……。

司会 今日はお忙しい中を、へドロ問題にはじまり、一連の公害に対する市長の姿勢、あるいは、市政の各般にわたる、貴重なご意見ありがとうございました。これからも、どんどんご批判をうけたまわりたいと思いますので、よろしく願います。

では、この辺で……。

市長 ありがとうございます。

(おわり)



●腹が立つコマギレ舗装

いつも腹立たしく思うのに道路の切れ切れ舗装があります。役所は、そのたびに「予算が…」といいますが、もう少しなんとかなりませんか。
(伝法町一・鈴木まつ江 25才)

●緑のまちづくりを

市内には緑が少なすぎる。街路や空地に市費で植樹をしてほしい。一般家庭には樹木のあつせんや助成も考えて、緑の町づくりを実施していただきたい。
(比奈・前川昌資 43才)

